



地方独立行政法人

佐世保市総合医療センター

Sasebo City General Hospital

# 形成外科専門研修プログラム



# 病院紹介

病床数／594床（一般570床、結核20床、感染症4床）

診療科／31科

医師数／153人（2023年4月現在）

診療実績（2022年度実績）

1日平均外来患者数： 750人/日

1日平均入院患者数： 392人/日

離島診療所：宇久（病床数17床）、黒島、高島

施設認定／救命救急センター

地域周産期母子医療センター

高次脳卒中センター

救急告示病院

地域災害拠点病院

地域医療支援病院

臨床研修病院

地域がん診療連携拠点病院

エイズ治療拠点病院

第二種感染症指定病院

病院機能評価（3rdG：Ver.1.1）

## プログラムの特徴

- ◆長崎県佐世保市の病院グループによる研修プログラムです。
- ◆病院群で年間1,000例以上の症例があります。
- ◆症例は多岐にわたり1次から3次まであらゆる症例が経験できます。

# 手術件数等 (2022.1~12)

区分	件数						
	入院手術			外来手術			計
	全身麻酔	腰麻・ 伝達麻酔	局所麻酔・ その他	全身麻酔	腰麻・ 伝達麻酔	局所麻酔・ その他	
外傷	72	56	120	0	0	157	405
先天異常	33	0	6	0	0	10	49
腫瘍	53	5	98	0	0	295	451
瘢痕・瘢痕拘縮・ ケロイド	1	1	3	0	0	14	19
難治性潰瘍	19	1	32	0	0	5	57
炎症・変性疾患	19	10	39	0	0	51	119
美容（手術）	0	0	0	0	0	0	0
その他	2	0	82	0	0	16	100
Extra.レーザー治療	22	0	0	0	0	177	199
大分類計	221	73	380	0	0	725	1,399

## 指導医からのメッセージ

当院は佐世保県北医療圏の基幹病院であり、高度の急性期医療を目指しています。その中で形成外科は、他科と連携し、専門性の高い医療を提供することを心がけています。具体的には悪性腫瘍再建におけるマイクロサージャリーを用いた再建や、先天異常の口唇口蓋裂に対して、当科が中心となり他科と連携し、集学的な治療を行います。足趾難治性潰瘍、褥瘡などは他科医師、コメディカルを含めカンファランスを行い、総合的に治療方針を決定します。また、当院は救命救急センターを併設し3次救急を担うため、広範囲熱傷、顔面骨骨折、手指損傷、切断指に24時間体制で対応しています。専門医取得に十分な症例を経験できる病院です。

# 連携施設

長崎労災病院

長崎大学病院

# 指導体制 (2023.5)

日本形成外科学会皮膚腫瘍外科分野指導医	2
日本形成外科学会再建・マイクロサージャリー分野指導医	2
日本形成外科学会小児形成外科分野指導医	1
日本形成外科学会レーザー分野指導医	1
日本形成外科学会専門医	2
日本手外科学会専門医	1
日本創傷外科学会専門医	1
日本熱傷学会専門医	1

# 研修スケジュール

佐世保市総合医療センターおよび1つの連携施設ですべての形成外科専門医カリキュラムを達成することを目標にします。それぞれの施設には取り扱う疾患の分野にばらつきがあるため、不足分を補うように病院間での移動を行っていきます。

専門研修1年目

佐世保市総合医療センター形成外科(1年)

専門研修2年目

長崎労災病院形成外科(1年)

専門研修3年目

佐世保市総合医療センター形成外科(1年)

専門研修4年目

佐世保市総合医療センター形成外科(1年)

(例)



# カリキュラム

専攻医は月1回の佐世保市総合医療センターカンファランス（症例検討会）に参加し、佐世保市総合医療センターの症例や連携施設の症例を検討することによって、形成外科のあらゆる分野の知識や技術を幅広く修得することができます。

## 専門研修1年目

専門研修1年目では、一般的な医師としての基本的診療能力、および形成外科の基本的知識と基本的技能の修得を目標とします。具体的には、医療面接・記録を正しく行うこと、診断を確定させるための検査を行うこと、局所麻酔方法、外用療法、病変部の固定方法、理学療法の処方を行うことなどを正しく行えるようになることを目標とします。さらに、学会・研究会への参加およびe-learningや学会が作成しているビデオライブラリーなどを通して自発的に専門知識・技能の修得を図ります。形成外科が担当する疾患は種類が多岐にわたり、頻度があまり多くない疾患もあるため、臨床研修だけでなく著書や論文を通読して幅広く学習する必要もあります。

## 専門研修2年目

専門研修2年目では、専門研修1年目研修事項を確実にこなせることを前提に、形成外科の手術を中心とした基本的技能を身につけていきます。研修期間中に1) 外傷, 2) 先天異常, 3) 腫瘍, 4) 瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド, 5) 難治性潰瘍, 6) 炎症・変性疾患 などについて基本的な手術手技を習得します。

## 専門研修3年目

専門研修3年目では、マイクロサージャリーやクラニオフェイシャルサージャリーなどより高度な技術を要する手術手技を習得します。また、学会発表や論文作成を行うための基本的知識を身につけます。

## 専門研修4年目

専門研修4年目では、3年目までの研修事項をより深く理解し、自分自身が主体となって治療を進めていけるようにします。さらに、再建外科医として他科医師と協力の上、治療する能力を身につけます。また、言語・音声・運動能力などのリハビリテーションを他の医療従事者と協力の上、指示・実践する能力を習得します。

# 待遇・福利厚生

## 給与

給 与 337,300円/月 (医師免許取得後3年目)

349,800円/月 (医師免許取得後4年目)

361,100円/月 (医師免許取得後5年目)

賞 与 4.45月分/年 (R4実績)

その他 医師手当、時間外勤務手当、休日勤務手当、  
通勤手当、日当直手当(20,000円)、特殊勤務手当

## 休日・休暇

休 日 土日祝、年末年始 (12/29~1/3)

休 暇 有給休暇、夏季休暇、慶弔休暇、子の看護休暇、  
その他特別休暇有

※連携施設研修中の処遇は研修先の規定に準じます

# 待遇・福利厚生

## 社会保険等

健康保険・厚生年金・労災保険・雇用保険  
医師賠償保険責任保険（病院にて加入）

## 住宅補助

住居手当（最大28,000円）

※連携施設研修中の処遇は研修先の規定に準じます

# 募集要項・選考フロー



- 選考日程：日本専門医機構の募集スケジュールに準じます。
- 選考方法：書類選考、面接
- 応募書類：応募申請書、医師免許証写し、初期臨床研修修了見込証明書